

第6回 嬉野市総合戦略推進委員会 議事要旨

日時：2016年3月28日（月） 13：30～15：00

場所：嬉野市役所塩田庁舎3階 3-2,3-3会議室

◇出席委員：戸田委員、副島委員、前田委員、村上委員、松永委員、田中委員 [計6名]

◇欠席委員：毛利委員、林委員、熊谷委員

【次第】

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 「嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における平成27・28年度
地方創生関連事業について
4. その他
5. 閉会

<内容>

(事務局より)

- ・「嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の11ページについて、『(2) 地場を支える市内企業への支援充実』の後に『地元大学との連携』とそれに関連する項目及び具体的な施策を追加させていただきたい。
→全委員異議なし
- ・平成27年度に実施した地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（内閣府）の各事業について別添資料に基づき説明。
- ・平成28年度実施予定の地方創生関連事業として、地方創生加速化交付金事業および28年度に予算化された嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の継続事業について別紙に基づき説明。

(委員より)

- ・嬉野市では健康寿命の延伸を数値目標として設定している。全国的に見れば富山市は健康寿命を延ばす取り組みを行っている。参考にされてはどうか。

- これからは一つの自治体ではなく、例えば杵藤地区の範囲で自治体間連携をしていくことが必要ではないか。それぞれの共通の課題があってそれを解決しようとする際にはお互いに費用も分担できる。何かしらのシステムを構築する場合も杵藤地区レベルであれば業務的にもやり易い。
- 杵藤地区+有田町まで含めると観光面でも何かしら面白い取り組みができそう。
(肥前窯業圏の日本遺産認定 etc)
- 県を越えての連携も考えてはどうか。
- 地域 DMO の構築は、良い人材を招聘してきちんとお金を回していける団体を設立しないと意味がない。既存の団体にかぶせていくような手法は止めた方がいい。
これについても広域でやるのも一つの手。有田・鹿島と連携して焼き物・酒をツールに地域おこしをしてみるのも面白い。
- 今後「嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を市民に説明する資料については、ビジュアル的に分かりやすく纏めた方がいいのではないか。例えば企業誘致ビルのパース図や商店街通りに最近新しく出来た交流センターなど嬉野市が目指す将来像をイメージできるよう工夫するべきだ。また、それを SNS などで情報発信することにより国内や海外の人にも嬉野の良さを PR できる。